

【短報】台湾緑島で採集された歩行虫

緑島（台東縣緑島郷，約16平方キロメートル）は台東市の東海上29kmほどの沖合に位置する，面積では台湾第4の島である．海洋島であるこの島は，かつては「火燒島」と呼ばれ，流刑の地であったが，現在では観光地化されている．台湾本土や蘭嶼に比べ，緑島の歩行虫相の解明は遅れており，これまでにミズギワゴミムシ属1種 *Bembidion (Armatocillenus)* sp. が記録されているに過ぎない (Yoshitomi & Lee, 2010)．著者の一人である吉武は2013年7月17日から22日にかけて緑島で昆虫類の調査をする機会に恵まれた．その際に採集した歩行虫類の記録を，台湾のファウナを明らかにする上での一助となればと考え，ここに報告する．

Family Carabidae オサムシ科

Subfamily Trechinae チビゴミムシ亜科

Tribe Bembidiini ミズギワゴミムシ族1. *Tachys (Paratachys)* sp.

1♂, 20. VII. 2013, H. Yoshitake & T. Ishikawa leg., by light trap.

Andrewes (1925) の “*triangularis-group*” に属し，上翅の第1背部孔点が第6間室にある点を特徴とするグループの1種である．台湾では緑島のみならず，本島でも比較的普通に採集できる．日本のトカラコミズギワゴミムシやコイズミコミズギワゴミムシに体形と大きさが似ている．また，Minowa (1932) が阿里山と埔里から *T. prolixus* Bates の名前で記録した標本にも似ている．Andrewes (1925) の検索表をたどれば，確かに *T. prolixus* Bates あたりに行き着くのだが，記載を読む限り，同種とは思えない．供試標本の体長（頭盾先端から翅端までの長さ）は約3.5 mm（上唇の先端から計測すると約3.7 mm）．

2. *Tachyura* sp.

1♂, 18–19. VII. 2013, H. Yoshitake & T. Ishikawa leg., by light trap.

Andrewes (1925) の “*politus-group*” に属する黄褐色の小型の種である．緑島の標本は日本を含む東アジアからインド方面にかけて広く分布するオビモンコミズギワゴミムシに一見似ているようにも見えるが，それと断定できる証拠は今までのところ得られていない．供試標本の体長は約2.0 mm．

Subfamily Harpalinae ゴモクムシ亜科

Tribe Perigonini ホナシゴミムシ族

3. クロズホナシゴミムシ *Perigona (Trechicus) nigriceps* (Dejean, 1831)

3 exs., 18–19. VII. 2013, H. Yoshitake & T. Ishikawa leg., by light trap; 2 exs., 20. VII. 2013, H. Yoshitake & T. Ishikawa, by light trap.

Perigona 属のほとんどの種が樹皮下性であるのに対し，本種は地上性で，たいてい落葉落枝の溜まった場所などで見つけることができる．灯火によく飛来する．台湾の採集記録地としては，他に南投縣本部溪がある (Habu, 1965)．檢視標本の体長は2.6–2.9 mm．

4. *Perigona (Trechicus)* sp.

1♀, 20. VII. 2013, H. Yoshitake & T. Ishikawa leg., by light trap.

大きさや体形が前種に酷似するが，複眼が大きい点が異なる．檢視標本の体長は約3.0 mm．

Tribe Lachnophorini5. *Selina westermanni* Motschulsky, 1858

1♂, 21. VII. 2013, T. Ishikawa leg., in wetland.

体形がアリに似た1属1種の特異な歩行虫である．香港から東南アジア一帯，およびアフリカに分布する．緑島は本種の分布の東限となる．台湾初記録種である．檢視標本の体長は約4.4 mm．

Tribe Odacanthini クビナガゴミムシ族6. ナガサキクビナガゴミムシ *Eucolliuris litura* (Schmidt-Goebel, 1846)

1♂, 20. VII. 2013, T. Ishikawa leg., in grassland; 1♀, 21. VII. 2013, T. Ishikawa leg., in wetland.

湿った草地に生息する種である．台湾の採集地としては，他に新北市三芝と桃園縣楊梅がある (Terada & Wu, 2014)．檢視標本の体長は5.5–6.1 mm．

Tribe Lebiini アトキリゴミムシ族7. ヘリアオアトキリゴミムシ *Callidiola splendidula* (Fabricius, 1801)

1♀, 21. VII. 2013, H. Yoshitake leg.

頭と前胸が赤く，上翅が金緑色の美麗種である．葉上に見られる普通種であるが，台湾での採集記録は意外に少ない．過去に記録されている産地は南投縣本部溪および南山溪のみである (Habu, 1979)．檢視標本の体長は約8.2 mm．

末筆ながら，緑島での調査に際して種々ご協力いただいた石川忠，曾惠芸，陳彦廷，林仲平の各

氏および文献についてご教示下さった呉文哲氏に深謝する。なお、本報の検視標本は研究のために当面寺田が保管するが、将来的に(独)農業環境技術研究所(つくば市)と国立自然科学博物館(台中市)に所蔵される予定である。また、吉武による調査は日本学術振興会科学研究費補助金(研究課題番号:25304013;代表者:伊藤元己)の助成を受けて実施されたものである。

引用文献

- Andrewes, H. E., 1925. A revision of the oriental species of the genus *Tachys*. *Annali del Museo di Civico di Storia Naturale, Giacomo Doria* 51: 327–502, 2 pls.
- Habu, A., 1965. Some carabid-beetles from Formosa. *Special Bulletin of the Lepidopterological Society of Japan*, (1): 83–87.
- Habu, A., 1979. Formosan Lebiini collected by Professor T. Shirozu in 1965 (Coleoptera, Carabidae). *Proceedings of the Japanese Society of Systematic Zoology*, (16): 65–69.
- Minowa, S., 1932. New and hitherto unrecorded Carabidae from Formosa (I). *Transactions of the Natural History Society of Formosa*, 22: 281–292.
- Terada, K. and W.-J. Wu, 2014. Notes on Taiwanese Caraboidea (Coleoptera) V. A review of the Tribe Odacanthini (Carabidae) in Taiwan, with description of *Ophionea bhamoensis taiwanensis* subsp. nov. *Collection and Research*, 27: 15–41.
- Yoshitomi, H. and C.-F. Lee, 2010. Revision of the Taiwanese and Japanese species of the genus *Laius* (Insecta: Coleoptera: Malachiidae). *Zoological Studies*, 49: 534–543.

(寺田勝幸 733-0007 広島市西区大宮1丁目
2-20-203)

(吉武 啓 305-8604 つくば市観音台3-1-3
独立行政法人農業環境技術研究所)
(伊藤元己 153-8902 目黒区駒場3-8-1
東京大学大学院総合文化研究科
広域科学専攻, 広域システム科学系)

【短報】愛媛県松山市内で採集されたオオシラホシハナノミ

オオシラホシハナノミ *Hoshihananomia pirika* Kôno は、北海道から九州にかけて局地的に記録され、本州以南では通常ブナ帯で採集されている。四国ではこれまで愛媛県川内町(小笠原, 1999)および赤星山(高橋, 2004), 高知県手箱山および梶ヶ森(高桑, 1978), 徳島県美馬市竜王山(和田, 2001)および那賀町(光枝, 2009)の記録があるが、筆者らの1人栗原は次のとおり愛媛県松山市内で本種を採集しているので報告しておく。

2♂♂, 松山市常光寺町(標高120 m), 26. VI. 2007, 栗原隆採集(神奈川県立生命の星・地球博物

館収蔵予定)。

採集された個体は、丘の頂上部にある弘法大師像へと続く参道沿いに植えられた、ソメイヨシノの生葉をスイーピングしたところ得られた。その生葉は、参道沿いの広い空間に張り出しており、木漏れ日がよく当たっていた。

上記の採集地点は、道後温泉の背後に連なる標高200–260 mの丘陵の一角で、海岸からは7 km程度しか離れていない。ごく最近、南関東でも低標高地から立て続けに採集されており(八巻, 2014; 高桑, 2014), 低標高地での相次ぐ発見は興味深い。

なお、今回の発表が採集時から数年も遅れたのは、採集地点がそれまでの常識的な生息環境から大きく逸脱していたため、念のため雌個体の採集を待つてから分類学的な検討を行おうとしたことによる。残念ながら、追加個体は得られないままである。

なお、香川県大滝山からは、キラホシハナノミ *Hoshihananomia kirai* が記録されている(坂口, 1989)が、この種は台湾と八重山諸島に分布が知られる一方、本種にきわめて似た形態的特徴を持つ。このため、記録の基となった標本を検していないものの、オオシラホシハナノミの可能性が高いと考えられる。

末尾ながら、和田(2001)と高橋(2004)の記録をご教示いただいた藤本博文氏に心からのお礼を申し上げる。

引用文献

- 小笠原隆, 1999. 四国におけるオオシラホシハナノミの記録. 月刊むし, (346): 6.
- 光枝 洋, 2009. オオシラホシハナノミの徳島県下における採集例. 月刊むし, (457): 48.
- 坂口清一, 1989. 香川県産昆虫標本目録兼香川県産昆虫目録. 231 pp. 個人出版.
- 高橋英治, 2004. 赤星山甲虫採集報告. へりぐる, (25): 31.
- 高桑正敏, 1978. 日本産ハナノミ族の種別分布資料(1). 甲虫ニュース, (40): 12.
- 高桑正敏, 2014. 神奈川県初記録のオオシラホシハナノミ. さやばねニューシリーズ, (16): 31.
- 和田洋介, 2001. パナナトラップによる採集. へりぐる, (22): 38–42.
- 八巻 卓, 2014. 東京都高尾山でオオシラホシハナノミを採集. 月刊むし, (525): 63.

(栗原 隆 320-0865 宇都宮市睦町2-2
栃木県立博物館)

(高桑正敏 236-0031 横浜市金沢区六浦3-16-9)